

報道関係者各位

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス

**株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス
平成30年3月期連結決算のお知らせ**

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：松田 洋祐、以下当社）は、本日、平成30年3月期の決算発表を行いましたのでお知らせいたします。

財務ハイライト

	平成30年3月期	平成29年3月期	前年比
売上高	250,394	256,824	△2.5%
営業利益	38,176	31,295	+22.0%
経常利益	36,124	31,128	+16.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	25,821	20,039	+28.9%
1株当たり当期純利益	215.33円	164.20円	—

詳細な情報は、本日開示の決算短信 (<http://www.hd.square-enix.com/jpn/18q4tanshin.pdf>) をご参照下さい。

ご参考：スクウェア・エニックス・ホールディングス IRページ：<http://www.hd.square-enix.com/jpn/ir/>

平成30年3月期は、家庭用ゲーム機向けタイトルにおいて、「ドラゴンクエスト」シリーズ最新作である「ドラゴンクエスト XI 過ぎ去りし時を求めて」や「ファイナルファンタジーXII ザ ゾディアック エイジ」を発売したものの、大型新作タイトル数が前期よりも少なかったことから、前期比で減収となりました。他方、「NieR:Automata」をはじめとする過去に発売したタイトルのダウンロードを中心とした利益率の高いリピート販売が引き続き好調だったことから、前期比で増益となりました。

スマートデバイス・PC ブラウザ等をプラットフォームとしたコンテンツにおいては、「ファイナルファンタジー ブレイブエクスヴィアス」、「星のドラゴンクエスト」、「ドラゴンクエストモンスターズ スーパーライト」、「キングダム ハーツ ユニオン クロス」などの既存タイトルが国内外で好調に推移したほか、ロイヤリティ収入の増加により、前期比で増収増益となりました。

多人数参加型オンラインロールプレイングゲームにおいては、「ファイナルファンタジーXIV」及び「ドラゴンクエスト X」の拡張版の発売によるディスク売上と課金会員数の増加により、前期比で増収増益となりました。

アミューズメント事業においては、店舗運営が堅調に推移したものの、アミューズメント機器の新規タイトルの発売が減少したことから、前期比で減収減益となりました。

出版事業においては、コミック単行本の売上が好調に推移し、特に電子書籍形式による販売が増加しております。

ライセンス・プロパティ等事業では、自社コンテンツのキャラクターグッズ、サウンドトラック等の販売・許諾等が好調に推移いたしました。

以上

<ご参考>

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスについて

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスは、多彩なコンテンツ／サービス事業を展開しているスクウェア・エニックス・グループを統括する純粋持株会社です。当社グループは、スクウェア・エニックス、タイトー、アイトスなどの国際的ブランドのもと上質なエンタテインメント・コンテンツ／サービスを提供しています。また、先進的な開発拠点を日本、北米および欧州に配置し、国際的な事業推進体制を構築しています。当社グループの自社IPの代表作には「ドラゴンクエスト」シリーズ（累計出荷・ダウンロード販売本数7,500万本以上）、「ファイナルファンタジー」シリーズ（同1億3,500万本以上）、「トゥームレイダー」シリーズ（同6,300万本以上）、「スペースインベーダー」シリーズなどがあります。（<http://www.hd.square-enix.com/jpn/>）

※シリーズ累計出荷・ダウンロード販売本数は、パッケージゲーム出荷本数と本編ダウンロード販売本数の合計。ダウンロード販売本数は、2015年4月以降の累計値を使用し、パッケージゲームの本編ダウンロード版と家庭用ゲーム機およびPC向け本編ダウンロード専用タイトルを含む。

※SQUARE ENIX および SQUARE ENIX ロゴ、ドラゴンクエスト／DRAGON QUEST、ファイナルファンタジー／FINAL FANTASY、トゥームレイダー／TOMB RAIDER、スペースインベーダー／SPACE INVADERS、その他の社名、商品名は、日本およびその他の国におけるスクウェア・エニックス・グループの商標または登録商標です。

※その他、記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。